



勝光寺ホームページ

# 勝光

令和6年4月号  
庄原市三日市町  
276-3  
浄土真宗本願寺派  
勝光寺  
Tel 0824-72-0552  
Fax 0824-72-0910

## 護持会役員会報告



勝光寺護持会では、新年度に向けた活動計画を話し合いました。今年、これまでになかった新しい活動を盛りこんで、ご門徒の皆様との交流を深めたいと思っています。

### 1、護持会費の値上げ

令和6年度から護持会費を5,000円に値上げさせていただきます。ご理解のほどお願い致します。

### 2、護持会総会・グラウンドゴルフ大会

護持会総会  
第三土曜日の6月15日土曜日

グラウンドゴルフ大会  
6月23日 日曜日

以上の日程で進めて参ります。地区役員の皆様、スケジュールを確保し、総会への出席をお願い致します。

### 3、お盆法座の日程変更

1月にご案内した法座予定では、8月16日をお盆法座とお伝えしてまいりました。

それを18日(日)の午後に変更し、子どもたちに参加していただけるような「夕涼み会」を企画することになりました。詳細が決定し次第お知らせします。

### 4、仏教壮年会主催「イタリアン精進料理を味わうツアー」

北広島町の浄土真宗の浄謙寺というお寺では、法話とイタリアン精進料理を提供してまいります。仏教壮年会のお世話で、勝光寺のご門徒様なら誰でも参加できるツアーを企画してまいりました。

期日 11月16日土曜日  
定員 三十名まで

詳細は、決定し次第お知らせします。

## 四月二十六日(金)

## 永代経法座

講師 福間義朝師

三原市 教専寺 住職  
中央仏教学院 学院長

午前9時半 朝席

午後1時 昼席

本堂納骨堂納骨者

追弔法要のお勤め

昼食のお弁当を準備します。  
昼食を食べていただける方は1日(月)までに勝光寺にご連絡ください。



福間義朝先生は、昨年4月に浄土真宗本願寺派僧侶養成機関の中央仏教学院学院長に就任されました。全国の布教使の指導者として、京都を中心に全国を駆け回る大変お忙しい予定の中、勝光寺の永代経にご出講してください。

昨年の釈徹宗先生に続いて、なかなかお話を直接お聞きすることが難しい高名な先生のお聴聞の機会です。併せて、本堂納骨堂納骨者の追弔のお勤めも行います。市内の寺院の住職さまもお勤めに來ていただきます。どうぞお参りください。

お経(きょう)は「如是我聞(によぜがもん)」という言葉から始まります。

「仏さまがかくの如くおっしゃいました」で始まるのではなく、あくまで「私はこのようにお聞きしました」と、われわれ人間の立場から始まるのが、お経の大きな特徴であると言えます。これは、お釈迦さまのおさとりの世界は大無辺で捉えようもないが、この私が頂いたところによりますという、とても謙虚な姿勢です。私見をまじえることなく、そのまま、その通りに聞く、仏さまの意になう姿勢が示されていることだと思います。

実際私たちは人間は、自分のあるようにしか世界が見えませんが、ほかの人を見て、その人の過去も、また何を思っているその人生を歩んでこられたのか、その人の百分の一、万分の一もわかっていないのに、

「この人はこういう人だ」と決めつけたりします。何もわかっていないのに、わかっているつもりになっっていることこそが迷いです。

また、「今日は寒い」と言いますが、「私を感じる」ところでは、今日は寒い」と言うのが正確な表現です。寒いと思わない人がその場にいても知れません。私たちは自分の感じる世界にしかいることができません。自分がしんどい時には世界は灰色に見える、楽しい時にはバラ色に見えるのが私たちの有り様です。ですからどこまでいっても真実がわからないのです。しかし私たちは真実に遇(あ)っていく世界があります。それが如是我聞、聞いていく世界です。

ここに何を言ってもウソをつく人がいたとします。さて、そのウソつきの人が「私はウソつきです」と言った言葉はウソでしょうか・

・・・いいえ、この言葉だけは真実です。ウソつきも一つだけ真実を言うことができます。

そのように真実の全くわからない私たちも一つだけ真実のことが言えます。それは「私の中にはどこまでいってもあてになるものはありません。真実はありません」ということです。聞けば聞くほど私の中には真(まこと)のまの字も無いと知らされていくのが、実は真実に遇っていく世界なのです。

このことに徹底されたのが親鸞聖人でした。聖人は「私の言うことは真実であり、間違いない」という姿勢ではありません。『歎異抄』に「よきひとの仰せをかぶりて」とありますように、「ただ恩師・法然聖人からこのようにお聞かせいただきました」という姿勢を一生貫かれました。



### 勝光寺永代墓納骨者追弔法要

令和6年3月23日

勝光寺永代墓が建立されて、まもなく1年になります。毎年、春と秋のお彼岸には、永代墓納骨者の合同追弔法要をお勤めしています。

春の追弔法要は、あいにくの雨となり、外でお勤めすることができなかつたため、本堂でお勤めしました。雨の中、ご縁のある方々にお集まりいただき、厳粛にお勤めすることができました。

### お彼岸法座



春のお彼岸法座を、世羅町善行寺住職、真澄慎一先生をお迎えしてお勤めしました。九条武子さんの短歌「まぼろしの柱ありけり 女あまた 命をかけて 安らいおれり」をひいて、どうぞ間違いない人生の柱を拠り所として生きていきましょう。というお話をさせていただきました。

また、親鸞聖人の「心を弘誓の仏地に樹(た)て」というお言葉も引かれました。阿弥陀様は全ての生き物を分け隔てなく育む大地のように、分け隔てなく私たち凡夫を救い取ってくださいるお心お話をいただきました。

当日は朝から雨が降り、足下が悪い中、多くのご門徒さまにお参りいただき、ありがたい一日を過ごしました。ありがとうございました。